

保護者の皆様へ

臨時休業中の家庭学習の進め方について

お子様が学校に登校できない間も、規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けていくためには、ご家庭のご協力が必要です。お子様の家庭学習の見守り、ご支援をお願いします。

1 家庭学習の内容 ※「臨時休業中の学習の進め方」をお子様と読んでください。

○学校の宿題をやろう！

配布された「ふりかえりシート」、ドリルやプリントなどは、今までの勉強を振り返りながら進めるようにしましょう。できなかった問題はもう一度解くなど、何度も分かるまで繰り返しさせてください。

○教科書で勉強しよう！

まず、教科書を音読させてみてください。教科書を読んでみて、分からなかったところに線を引いたり、分かったことをノートにまとめたりしながら進めてみましょう。

○パソコンやタブレットを使って学習しよう！

「レッツ スタディ！@home」などさまざまな「学びの支援サイト」があります。動画をみたり、興味のある問題をといたりしてみましよう。「e-ライブラリ」、「NHK for school」やNHKのEテレ、MXテレビ「TOKYO おはようスクール」などをお子様にすすめ、学習してください。

2 家庭学習を習慣にするための五つのポイント

- ① 毎日決められた時間（時刻）に、決められた場所（部屋）で学習する。
- ② 机の上や机の周りなどをきれいにして、姿勢をよくして行う。
- ③ スマホやテレビゲームなど学習の妨げになるようなものは、周りに置かない。
- ④ 問題を解いたらそのままにせず、答え合わせまでする。
※何を、どのように間違えたのかを自分で理解することが、学習の理解・定着につながります。
- ⑤ 集中力が切れてしまっても、読書や工作をするなど、約束の時間まで、必ず机に向かわせましよう。
※決められた時間、机に向かうという習慣が大切です。

3 家庭学習で気を付けるポイント（保護者の方々へのお願い）

- 1つの教科に対して、「小学校は学年×10分間」、「中学校は60分程度」をめやすにしてください。
- 学習でわからないことや困ったことがあったときはそのままにしないようにしましょう。
 - ・できるかぎりお子様と一緒に考えたり調べたりしてみましよう。
 - ・学校のメールアドレスに質問を送ったりしてみましよう。
- 学習中は、ぜひお時間をつくって、お子様の近くにいてあげましよう。
一緒に本を読んだり辞書や図鑑などで調べたりすることが励みになります。
- 勉強している時は、テレビを消すなど集中してできる環境にしましょう。
- 「集中してがんばったね」「間違いをきちんと直したね」など励ましや温かい助言をお願いします。
- 「早寝、早起き、朝ご飯」など生活リズムを整えることが、良い学習習慣をつくる第一歩です。生活習慣を守って生活できるようにご配慮ください。
- 読書の習慣化、辞書や図鑑、地図などを身近に置くなど、学習環境づくりにご協力ください。



【例】学習の流れ

教科書を使って勉強しよう！



※1～6までのめやすの時間は、およそ30分程度です。

	学 習 内 容
1	教科書を「音読」する <ul style="list-style-type: none">・声に出すことで、学習したことを理解できたかを確認めたり、理解したことを表したりすることができます。・1回だけでなく2回、3回と声に出して読んでみましょう。・国語だけでなく、社会科や理科、家庭科なども音読してみましょう。
2	読んでわからないところや内容に「線を引く」 <ul style="list-style-type: none">・読んでわからないところや言葉に線を引いておきましょう。 ※わからないところは、学校に行ったときに先生に聞こう
3	「言葉調べ」をする <ul style="list-style-type: none">・わからない言葉を辞書を使って調べたり、今まで習ったことを教科書やノートで振り返りながら調べたりする。 ※教科書を「視写する」(ノートに書き取る) <ul style="list-style-type: none">・「視写」とは、書かれたことをその通りに書き取ることです。・小学校高学年や中学校のみなさんは、気に入ったところや印象に残ったところをノートに視写してみましょう。
4	教科書を読んで分かったことや問題の解決のしかたを「ノートにまとめる」 <ul style="list-style-type: none">・ノートなどに書くことで学習内容を正確に理解することにつながります。・自分で解決したことをノートにまとめることで、学習内容が身に付きます。
5	「練習問題」や「たしかめ問題」に取り組む <ul style="list-style-type: none">・教科書をよく読みながら「たしかめ問題」などにもチャレンジしてみましょう。苦手な問題は分かるまで繰り返しやってみましょう。
6	ノートやプリントに「学習の振り返り」をする <ul style="list-style-type: none">・今日の学習で分かったことや次に調べてみたいことを書きましょう。
	※休憩したら、次の教科に取り組む

